

2月10日(水)、昨年世界遺産に登録された「富岡製糸場」、「群馬県立自然史博物館」、「こんにゃくパーク」、「甘楽町歴史民俗資料館」、「長岡今朝吉記念ギャラリー」、「楽山園」を観覧するバス旅行が実施されました。当日は2月には珍しいくらい暖かな一日で、参加された39名の皆さんが、楽しい一日を過ごしました。



富岡市駐車場から、製糸場へ向かう一行

早朝7:20 熊谷駅南口へ集合

武蔵野観光バスを利用し、車中では超ベテランガイドさんの案内で、一路「富岡製糸場」へ



朝9:00からという事で、我々一行が一番乗り正面入口から東繭倉庫を見る



東繭倉庫前にて集合写真を撮影





東繭倉庫前で説明に聞き入る皆さん

観光案内人の松本さんから「富岡製糸場」全般
および場内の案内をしていただきました。
イヤホンガイド利用のため、聞きやすかったのでは。



フランス式
(倉庫など)
煉瓦の積み方の違いなどの説明も...



イギリス式
(検査人館など)

操糸場内部で説明を受ける。
窓も大きく意外と内部は明るい



富岡製糸場を後にして「群馬県立自然史博物館」へ

地球の時代から人の進化まで幅広い展示。



分子から生物までの成り立ち、群馬の自然と環境、
進化の話、人の進化など2つのフロアに多くの
展示物があり、すべてを見て歩くには時間が
足りなかったかな...



こんにやくパークへ移動。



まずは、バイキングコーナーで色々なこんにやくをトレーに・・・



美味しいこんにやくはどれかな？



昼食の弁当とこんにやくバイキングで腹ごしらえを・・・



皆さん土産のこんにやくも一杯購入、お腹も一杯で、ハイ、チーズ！

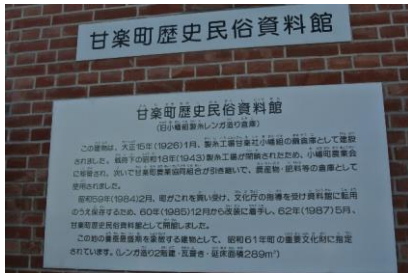
甘楽町歴史資料館へ



資料館から楽山園まで案内をして
頂いた斉藤さん



資料を閲覧する皆さん



甘楽社小畑組製糸工場の繭倉庫を改装し、S62に資料館
として開館。2階の展示室には円空仏が3体展示。
なた彫りと口元の微笑みの表情が貴重な仏像とのこと。

学問ノス、メ

この本は明治時代の啓蒙書として著名である。初篇は福沢諭吉と小幡篤次郎の共著である。

著者らは、故郷の豊前中津に学校を開設する時、学問の趣意を記したのが『学問ノス、メ』であり、慶応義塾の活字で印刷し、明治5年～9年逐次17冊を刊行した。

篤次郎は、小幡上総介信真の次女が嫁した武田家臣高田兵庫頭の子孫である。明治38年64歳で没。明治時代のベストセラー『学問ノス、メ』に、小幡氏が関与していたことを認識してほしい。

(井上卓三氏蔵)



円空仏

じゅうくうにんしん しょうりゅうきゅうろう ぜんぶ
十二神将立像 (天部) 高さ56.0cm

ぜんぶにりゅうりゅうりゅうりゅうろう
善女龍王立像 高さ40.3cm

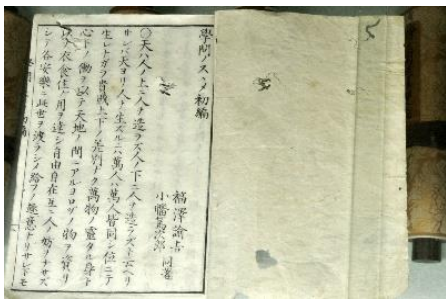
ぜんぶさいしんじゅうりゅうりゅうろう
善財童子立像 高さ35.5cm

えんくう
円空(1632~95)は全国を遊行して、4500体余りの木彫仏像を残した。

円空仏は従来の仏教彫刻とは異質であるが、鋭の彫痕や顔の微笑に特色があつて、最近高く評価されてきた。昭和54年9月甘楽町の小幡八幡宮から、3体の円空仏が発見された。円空は天和元年(1681)に富岡市の真前神社で大般若経を見終えたという。その頃、八幡宮別当の連石山長藏寺に来て、これらの仏像を刻んだものと推測される。

甘楽町重要文化財

(小幡八幡宮蔵)



その他、福沢諭吉の書「学問のススメ」の初版は、福沢諭吉と小畑篤次郎の共著であることを初めて知りました。

長岡今朝吉記念ギャラリー



甘楽町名誉町民の長岡今朝吉しが寄贈した日本画・洋画が多数展示されており、東山魁夷、河合玉堂、武者小路実篤や梅原龍三郎などの有名な画家の作品が多く展示されていました。

楽山園(国指定の名勝・織田氏が造った小幡藩邸の庭)へ



斉藤さんから楽山園についての説明に耳を傾ける



池泉回遊式の借景庭園

池の端にある「拝石」(殿様のみが立てる絶景の見場所)からの楽山園の風景



「梅の茶屋」と「腰掛茶屋」



「梅の茶屋」で風景を楽しむ皆さん

2月の寒風もなく朝から好天に恵まれ、素晴らしい親睦旅行が楽しめました。世界遺産に指定された「富岡製糸場」も幸い混雑もなく見られ、こんにやくパークではバイキングで各種のこんにやくが食べられらものと思います。その他の場所もそれぞれ見る物も多くて、多少忙しかった場面もありましたが、私にとっては新しい発見もあり素晴らしい旅行でした。磯田会長、高橋企画委員長はじめ幹事の皆さまありがとうございました。

記：加藤（ふる伝）